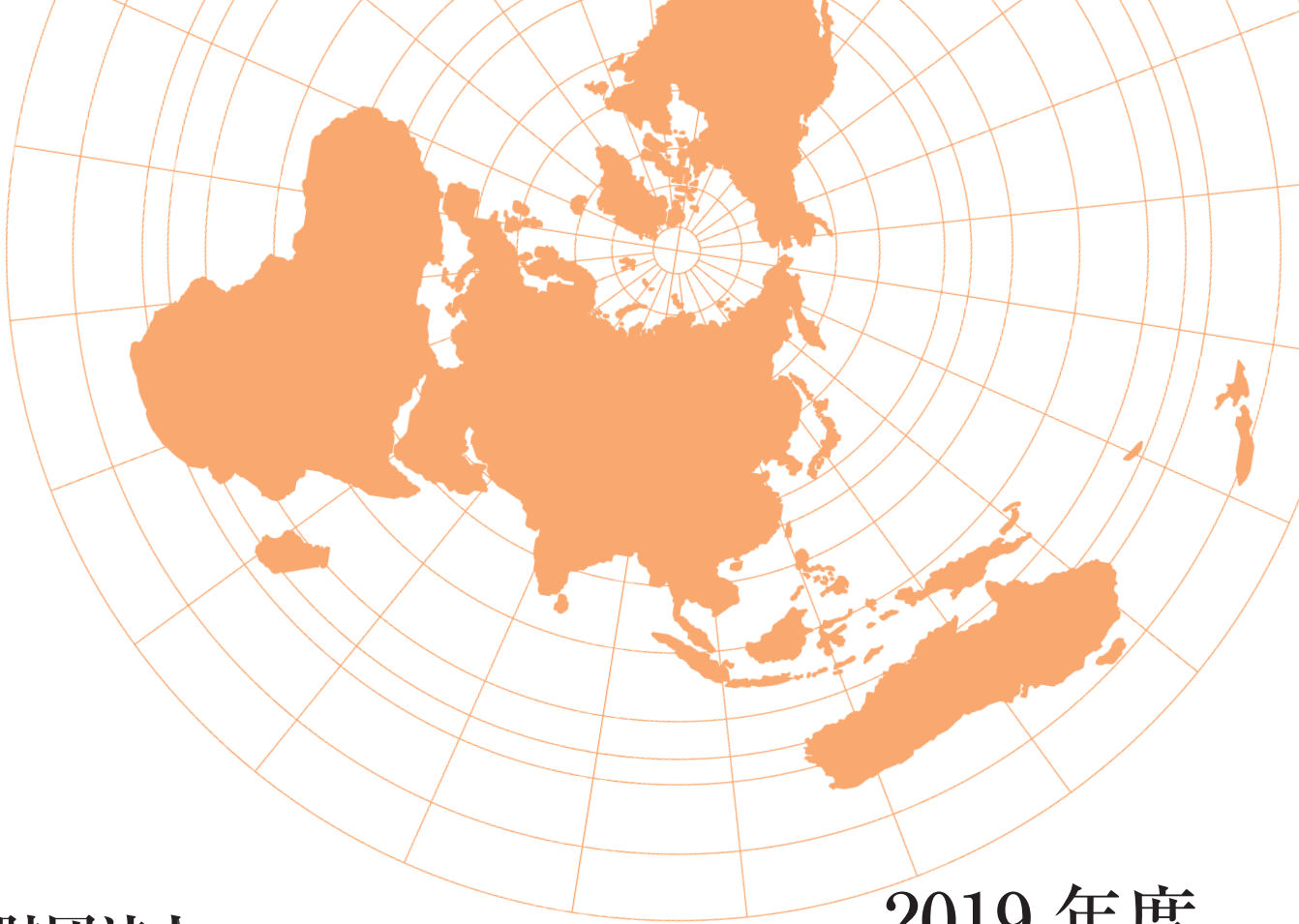




公益財団法人

2019 年度

# 渥美国際交流財団年報

ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION  
ANNUAL REPORT 2019

## 目次 CONTENTS

|       |   |
|-------|---|
| 理事長挨拶 | 2 |
|-------|---|

### ■ 奨学事業

3

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 渥美奨学金の概要                 | 4  |
| 2019 年度渥美奨学生（25 期生）研究報告会 | 5  |
| 蓼科ワークショップ                | 7  |
| 真夏の夜のバーベキューパーティ          | 8  |
| 工事現場見学会                  | 8  |
| 2020 新年会                 | 9  |
| ラクーン会                    | 10 |

### ■ 国際交流事業

11

|                                                         |    |
|---------------------------------------------------------|----|
| SGRA の概要                                                | 12 |
| 第 5 回アジア未来会議                                            | 13 |
| 第 63 回 SGRA フォーラム                                       | 15 |
| 第 64 回 SGRA フォーラム                                       | 16 |
| 第 9 回日台アジア未来フォーラム                                       | 19 |
| 第13回 SGRA チャイナ・フォーラム                                    | 20 |
| 第27回日比持続可能な共有型成長セミナー                                    | 20 |
| 東アジア日本研究者協議会第 4 回国際学術大会に参加                              | 21 |
| 第12回 SGRA カフェ                                           | 21 |
| 第 8 回 SGRA ふくしまスタディツアー                                  | 22 |
| CISV IPP (International People's Project) ふくしま 2019 に参加 | 22 |

### ■ 財団運営

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 業務日誌                  | 23 |
| 財務諸表                  | 24 |
| 財団人名簿                 | 25 |
| 奨学生名簿                 | 26 |
| 2019 年度の活動にご協力いただいた皆様 | 32 |

## ごあいさつ

理事長 渥美伊都子

2019年度は、渥美財団設立25周年を迎え、支援してきた奨学生が300名を超えました。故渥美健夫の遺志により、渥美国際交流奨学財団（現渥美国際交流財団）を設立した時から、きめ細やかなサポートを通して、奨学支援が終わった後もいつまでも大きな家族のように交流したいと思っておりましたが、今日のようなグローバルな学術交流ネットワークに発展できると思っておりませんでした。ひとえに、ご支援ご協力をいただいていた皆さまのおかげと、心から感謝を申し上げます。

2019年度のハイライトは何と言っても、1月にフィリピンで開催した第5回アジア未来会議です。アジア未来会議は、日本で学んだ人や日本に関心のある人が集い、アジアの未来について語る〈場〉を提供することを目的として、2013年から隔年で開催しています。学際性を核として、グローバル化に伴う様々な課題に多面的に取り組むことを奨励しています。フィリピンの会議には、22か国から350人が参加してくださいました。

一方で渥美財団にとってアジア未来会議は、開催国出身の元奨学生たちだけでなく、世界各地からたくさんの元奨学生が集う場にもなっています。今回も50名を超す皆さんがお集まりくださり、私も懐かしい方々との再会を心から楽しみました。元奨学生の皆さんは、ご自分の論文を発表するだけでなく、円卓会議を企画実施したり、優秀論文の審査をしたり、事務局のお手伝いをしてくださいます。このように、元奨学生の皆さんと一緒に、手作りで、大きな会議を開催し、アジアの学術交流推進の一助となれることをとても嬉しく思っております。

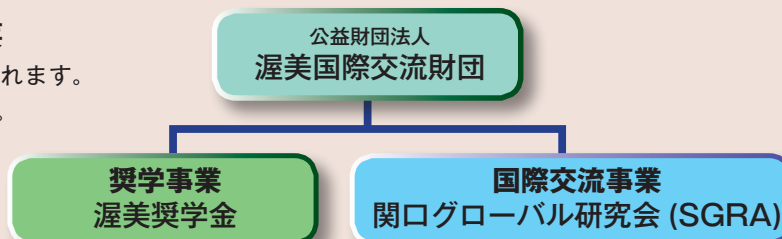
楽しかったアジア未来会議も無事に終了し、一年の締めくくりを迎えようとした矢先に到来したのが、新型コロナウイルスのまん延、パンデミックです。毎年度の最後の交流事業である研究報告会も、今年は内輪だけで懇親会は中止になりました。そして新年度早々に予定していた「設立25周年記念感謝の集い」も延期とせざるを得ませんでした。

世界的なパンデミックが一日も早く終息し、皆さまが健やかな日々を過ごされることを心より願っております。



### 渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。  
奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



# 奨学事業

## 奨学事業からネットワークへ

渥

美国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのために、奨学金は必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されます。

## 2019 年度の主な活動

- 2019 年度渥美奨学生（25 期生）研究報告会 p5
- 蓼科ワークショップ p7
- 真夏の夜のバーベキューパーティ p8
- 工事現場見学会 p8
- 2020 新年会 p9
- ラクーン会 p10

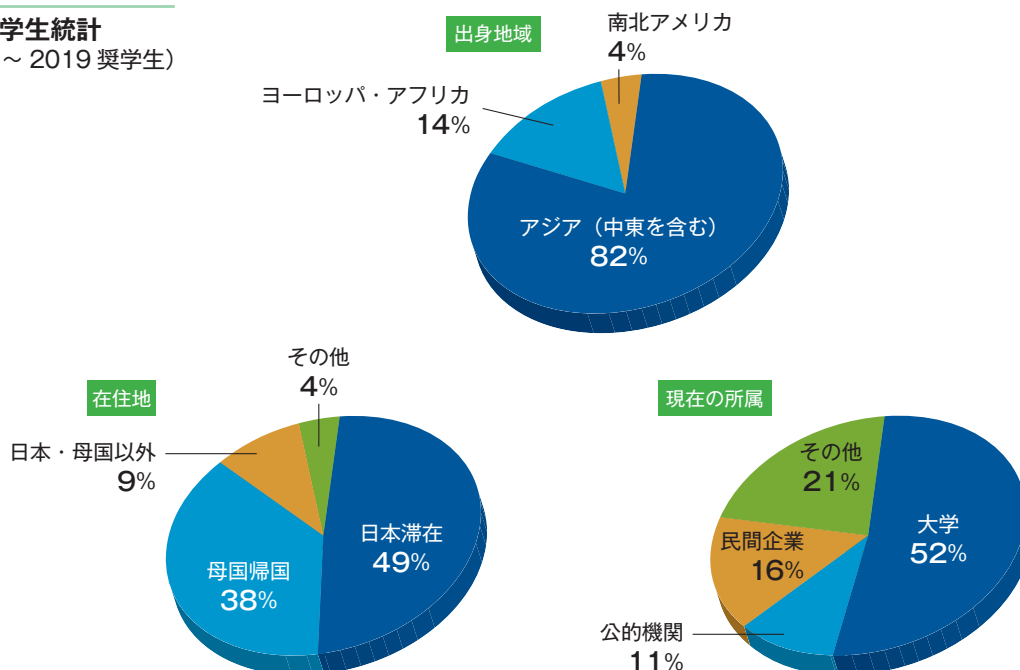


## 渥美奨学金の概要

**渥** 美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍して博士論文を執筆している留学生を対象に、毎年14名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は1年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありません。2019年度（25期生）までに、51ヶ国・地域、306人を支援してきました。

### 渥美奨学生統計

(1995～2019 奨学生)



## 募集および選考

### ■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院の博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地の両方が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語に堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は常勤の方への支給、および月額5万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません）。

### ■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年7月以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

### ■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。

### 選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

## 2019 年度渥美奨学生（25 期生） 研究報告会

2020 年 3 月 7 日（土）  
於：鹿島新館・渥美財団ホール

奨学生が 1 年の研究活動を報告する研究報告会。毎年このことから多分野のバラエティーに富んだ報告が行われた。発表からは研究者としての意欲と共に博士論文執筆の厳しさが伝わってくる。本年度は新型コロナウイルスの感染防止を考慮して、発表者である本年度奨学生と次年度奨学生、財団理事など、最小限の人数にとどめて開催した。また、奨学生 3 名は欠席を余儀なくされた。



午後 1 時 15 分、2019 年度奨学生たちの 1 年を労う渥美伊都子理事長の挨拶で会場の空気が温かく包まれ、報告会が始まった。



今年度の発表者は 13 名。1 人当たり 12 分、「子どもでもわかるように」を課題に、研究の概要が次々に報告された。



奨学生たちの研究報告を受け、「国境を超えてお互いに発展していきましょう」「財団のネットワークをどんどん活用して」等々、5 名の方々から激励やはなむけの言葉が送られた（左から、来賓の藤原晴彦先生、片岡達治先生、平川均先生、金外淑先生、高偉俊先生）。



報告会終了後の懇親会は今年度は取り止め。休憩時間の軽食もすべて個包装のものにするなど、感染対策にも注意が払われた。



2019 年度奨学生のみなさん「お疲れ様でした」。今後はラクーン（元渥美奨学生）として共に国際貢献していくことを願って。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2020.03.07 2019 年度奨学生研究報告会報告 参照。



# 2019 年度奨学生の研究テーマ一覧

**大正期の童謡研究：金子みすゞの位置づけ**

**アルメリ、ナーヘド**

Almerce, Nahed (シリア)

筑波大学大学院／  
〈博士〉文芸・言語



**近世日本のイソップ寓話受容と出版文化**

**李 澤珍**

Lee Taekjin (韓国)

東京大学大学院／  
比較文学・比較文化



**タカラヅカ世界のエスノグラフィー：  
宝塚歌劇の舞台を超えていく経営戦略、  
都市空間とファン文化の関係性をめぐって**

**バラニャク平田、ズザンナ**

Baraniak-Hirata, Zuzanna (ポーランド)  
お茶の水女子大学大学院／ジェンダー学際研究



**戦略的パラダイム転換を契機とした海洋強国  
建設：中華人民共和国建国後の中国海軍主義  
と人民解放軍海軍の発展**

**ノハラ、ジュン**

Nohara, Jun (フランス)  
東京大学大学院／国際関係論



**厭世詩人としての北村透谷：明治初期における  
ロマン主義的思想の形成について**

**陳 璐**

Chen Lu (中国)

東京外国語大学大学院／  
言語文化



**国際取引法の実在理由**

**セレナ、フランコ**

Serena, Franco (イタリア)

慶應義塾大学大学院／  
国際取引法・民事法学



**デザインを人類学的にいかに見るのか？：  
景観、技術、デザインの交叉から一答え**

**陳 昭**

Chen Zhao (中国)

東京大学大学院／  
文化人類学



**移動を前提とする「地域社会」：エスニック  
な観光地「新大久保」の出現による社会関係  
の再編から**

**申 惠媛**

Shin Hyewon (韓国)

東京大学大学院／国際社会・相関社会



**日記文学と王朝記録文化**

**フェレ、アントナン**

Ferré, Antonin (フランス)

東京大学大学院／  
日本語日本文学



**光集積回路とその光通信、光イメージング、  
光計算への応用**

**唐 睿**

Tang Rui (中国)

東京大学大学院／  
〈博士〉電気系工学



**明治日本の哲学言説と「批評」の形成**

**郭 馳洋**

Guo Chiyang (中国)

東京大学大学院／  
地域文化研究



**カトリック教理書からみるアジアのつながり**

**王 雯璐**

Wang Wenlu (中国)

東京大学大学院／  
中国思想文化学



**韓国の高齢者の自殺予防のための地域  
サポートシステムに関する研究：  
マウルコミュニティの再構築に焦点を当てて**

**金 信慧**

Kim Sinhye (韓国)

立教大学大学院／コミュニティ福祉学



**近世本草学における儒学的基盤：  
中国伝統的世界像の視点から**

**謝 蘇杭**

Xie Suhang (中国)

千葉大学大学院／  
人文公共学



**東アジアにおける女仙信仰について：  
江戸時代の五岳真形図の受容からの考察**

**頼 思好**

Lai Sihyu (台湾)

東京大学大学院／  
東アジア思想文化



**アゲハ幼虫の擬態紋様形成の分子機構の解明**

**金 弘淵**

Jin Hongyuan (中国)

東京大学大学院／  
〈博士〉先端生命科学



# 蓼科ワークショップ°

2019年7月5日（金）～7日（日）

於：大興蓼科山荘

2019年度奨学生の親睦会を兼ねた2泊3日の蓼科ワークショップ。今年度のワークショップのテーマは「AIは怖くない!」。「AIにしてほしい」こと、絶対「AIにしてほしくない」ことを入口に議論をするなかで、互いの人柄や思いを知り、絆を深めていった。また諏訪、蓼科周辺の観光も楽しんだ。



参加者を乗せて東京を出発したバスは、途中で諏訪神社などに立ち寄りながら、蓼科山荘を目指した。



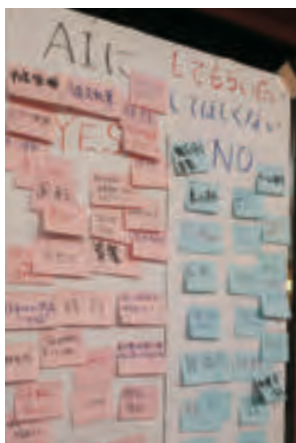
「AIにしてほしい」ことと「AIにしてほしくない」ことを紙に書き分けて、ボードへ次々と貼っていくことからWSが始まった。



立命館大学の李周浩教授（98 狸）による講演。AI の歴史、IT 学習の現在と基礎等々、客観的かつ具体的なものだった。



どこまでのことを機械に任せるべきか、人間独自のものは何なのか。議論はより高度な問題へと発展していった。



与えられたテーマをもとに各グループがスキットを演じる「グループワーク」。AI の限界を巧妙に表現した名作揃いだった。



笑いとしみじみを感じ、AI の将来に「健全な警戒心」を持とうと語り合い、ワークショップは幕を閉じた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 07.07 2019 年蓼科ワークショップ報告 参照。



## 真夏の夜の バーベキューパーティ

2019年7月27日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール／中庭

毎年恒例となった渥美国際交流財団の「真夏の夜の BBQ」。今回は第 12 回 SGRA カフェに引き続いて開催された。



神奈川県・小田原からの新鮮な「海の幸」がメインディッシュになり、ラクーンによる美味しい料理も並んだ。ラクーンと共に、SGRA カフェから引き続いての参加者も加わり、噴水で涼しさが増す、夕暮れの中庭で歓談とご馳走を楽しんだ。

## まちづくりプロジェクト 工事現場見学会

2019年11月21日（火）

於：東京都内・複合施設建設現場

前日の冷え込みから一転、温かい日差しが届く午後、渥美伊都子理事長を始め 2019 年度奨学生一同は、鹿島建設が設計・施工を手掛けているまちづくりプロジェクトの工事現場を見学した。



新しいビジョンによるまちづくり（都市の再開発）のデザイン、緻密な計画による工程管理、極（きわみ）を追求する職人氣質など、今回の見学は日本のゼネコンが世界に誇る建築の実力を肌で感じる貴重なチャンスとなった。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 11.21 工事現場見学会報告 参照。



# 2020 新年会

2020 年 2 月 1 日 (土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール

例年 1 月の中旬に催されてきたが、今年はフィリピンで「第 5 回アジア未来会議」が開催されたため、2 月 1 日 (土) に催された。2019 年度奨学生をはじめ、ラクーンメンバーやその家族、財団スタッフが渥美財団ホールに集まり、大盛況となった。恒例の渥美伊都子理事長のお誕生日もお祝いをした。



新年会の定番の「餃子プロジェクト」チーム。朝早くから集まり、餃子の皮から中身まですべてを手作りした。



今年も餅つきは大人気。慣れない手つきで杵を持つ姿もご愛嬌。和気あいあいと楽しんだ。



理事長の挨拶や乾杯で新年会が始まった。中庭では餅つきが行われ、ホールでは皆がわいわいと食べ物や飲み物を楽しみながら賑やかに過ごしていた。



理事長の「誕生日お祝い」。花やケーキとともに「315 ピースのパズル」が贈られた。



「家族的な雰囲気や居心地の良さ」も渥美国際交流財団が大切にしていることのひとつ。「人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道がひらかれてゆくことを願って」、皆さんがご幸福で満ち溢れますように！

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 02.01 2020 年新年会報告 参照。



# ラクーン会



世界各地で開催される渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2019年度は東京で2回、北京で1回、台北で3回開催された。第5回アジア未来会議では50名を超えるラクーンがフィリピンに集合。最終日には火山灰の降る中、地元レストランで旧交を温めた。

## 韓国ラクーン会@新大久保 2019年4月18日(木)



就職のため韓国に帰国される金ボラムさん(18狸)を囲んで、全振煥さん(01狸)、韓京子さん(05狸)、金範洙さん(05狸)、全相律さん(16狸)、洪性珉さん(16狸)、趙秀一さん(18狸)、関東嘩さん(18狸)、申惠媛さん(19狸)が集まった。

## ラクーン会@台北 2019年6月1日(土)



第9回日台アジア未来フォーラムの翌日に開催。陳姿菁さん(02狸)、張桂娥さん(03狸)、蔡英欣さん(04狸)一家、藍弘岳さん(05狸)、梁蘊嫻さん(06狸)夫妻、韓国ラクーンの関東嘩さん(18狸)、今西常務理事が参加し、台湾文化を満喫した。

## フランスラクーン会@神楽坂 2019年7月24日(水)



初めてのフランス・ラクーン会を開催。マティアス・ヴィグルさん(10狸)、アメリ・コーベルさん(18狸)、アントナン・フェレさん(19狸)、ジュン・ノハラさん(19狸)と今西常務理事が参加。フランス出身のラクーンが全員集まり、ガレットとデザートクレープとシールドとワインを満喫した。

## ラクーン会@北京 2019年10月18日(金)



年に一回のチャイナフォーラムと合わせて北京ラクーン会を開催。今回は、なんと「宮廷料理」！金熙さん(95狸)、孫建軍さん(02狸)、朴貞姫さん(03狸)、李成日さん(06狸)、ソンヤさん(12狸)、顔淑蘭さん(15狸)、陳エンさん(17狸)、今西常務理事、韓小華さん(鹿島チャイナ)が参加した。

## ラクーン会@台北 2019年11月3日(日)



第4回東アジア日本研究者協議会に合わせて開催。渥美財団からは3つのチームが参加した。台北市内で開かれたラクーン会には、マキトさん(95狸)、李恩民さん(97狸)、南基正さん(96狸)、陳姿菁さん(02狸)、張桂娥さん(03狸)、梁蘊嫻さん(06狸)、朱琳さん(09狸)、フリーエ・アキバリさん(17狸)、沈雨香さん(17狸)、ダリアグル・ショリナさん(18狸)が集まり、充実した夕食会になった。

## 台湾ラクーン会@台北 2020年2月23日(日)



第6回アジア未来会議の準備会議、そして会場の視察のため、財団メンバーが訪台したのに合わせて開催。視察団一行に加え、台湾ラクーンメンバーの陳姿菁さん(02狸)、楊接期さん(99狸)ご家族3人、蔡英欣さん(04狸)ご夫妻、梁蘊嫻さん(06狸)ご夫妻が出席し、大団圓。会食の余興として、楊さんの娘さんが二胡の演奏を披露してくれた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2019～2020のバックナンバー 参照。



# 国際交流事業

## 良き地球市民の実現をめざす

**渥** 美財団の国際交流活動の中心を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは世界各国から渡日し、長い留学生生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究を推進する学術交流事業を行い、その成果を会議、フォーラム、レポート、ホームページ等で広く世界に発信しています。日本国内だけでなくアジアを中心に海外拠点を設けて活動しています。

SGRAは、ある一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な研究交流活動を狙いとしています。良き地球市民に貢献することがSGRAの目標です。

## 2019 年度の主な活動

- 第5回アジア未来会議 p13
  - 第63回SGRA フォーラム
  - 第64回SGRA フォーラム
- 第9回日台アジア未来フォーラム p19
- 第13回SGRAチャイナ・フォーラム p20
- 第27回日比持続可能な共有型成長セミナー p20
- 東アジア日本研究者協議会第4回国際学術大会に参加 p21
- 第12回SGRAカフェ p21
- 第8回SGRAふくしまスタディツアー p22
- CISV IPP (International People's Project) ふくしま2019に参加 p22

## SGRAの概要

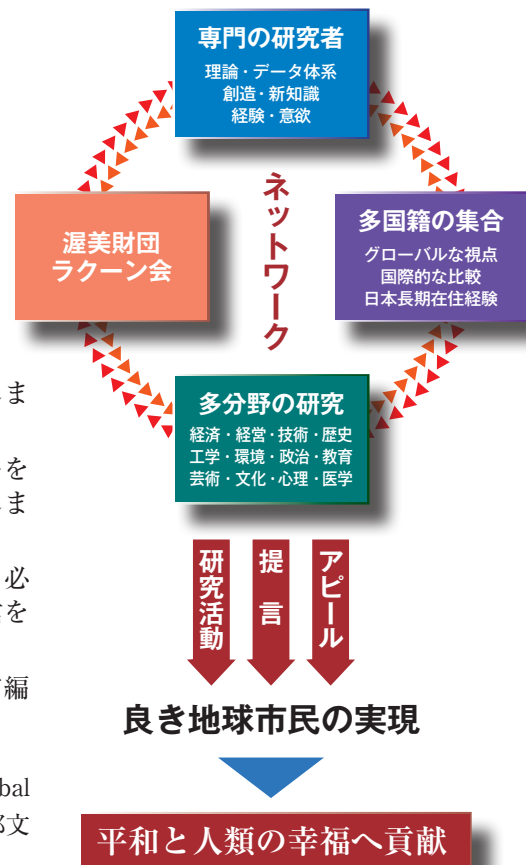


SGRAは、渥美財団の事業資金と法人・個人からの寄附金、諸機関からの各プロジェクトに対する助成金、その他の収入を運営資金として、運営委員会、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を展開しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 運営委員会は、本会の目指す目標に合致する研究カテゴリーを選定し、適宜にプロジェクトチームを編成し、事業を推進します。
3. プロジェクトチームは、SGRAメンバーにより構成され、必要に応じて他の参加者を求め、事業を推進し、広く情報発信を行います。
4. プロジェクトチームは、個別プロジェクトの実施組織として編成されます。

SGRAは、渥美国際交流財団関口グローバル研究会（Sekiguthi global Research Association）の略称です。渥美財団の所在地である東京都文京区関口から世界に向かってグローバルな課題を発信します。

## SGRAの特徴



## 主な事業

### アジア未来会議

日本に留学経験のある研究者、日本に関心のある若手研究者、学生が一堂に集い、アジアの未来、地球社会の未来を学際的・国際的な視点から語り合う《場／プラットフォーム》です。2012年度から隔年度にアジアの主要都市で開催されています。

### 海外の研究機関等との共同プロジェクト

#### ■ 日台アジア未来フォーラム

台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。

#### ■ SGRA チャイナ・フォーラム

北京を拠点とする「清華東亜文化講座」の協力を得て、北京を中心とした中国の大学や研究所で毎年開催。文化に焦点を当てて日中交流史の再検討を試みるフォーラム。

#### ■ 日韓アジア未来フォーラム

韓国（財）未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。

#### ■ 日比共有型成長セミナー

1970年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。

### SGRA フォーラムなどの学術交流事業

以下の8つのカテゴリーから導き出されるテーマに沿った円卓会議やフォーラムなどの学術交流活動を行います。

- ・グローバル化と地球市民
- ・構想アジア
- ・環境とエネルギー
- ・科学技術と人間社会
- ・東アジアの人材育成
- ・東アジアの安全保障と世界平和
- ・宗教と現代社会
- ・ジェンダーと社会

その他、SGRA ふくしまスタディツアーやSGRA カフェなどを随時実施しています。SGRA活動の成果は優秀論文集、SGRA レポート、SGRA ホームページ、SGRA メールマガジン等で発信しています。



## 第5回アジア未来会議

持続的な共有型成長—みんなの故郷、みんなの幸福

日時：2020年1月9日（木）～13日（月）

場所：ベルビューホテル（フィリピン・メトロマニラ アラバン）、  
フィリピン大学ロスバニョス校（フィリピン・ラダナ州）

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：フィリピン大学ロスバニョス校 公共政策・開発大学院（CPAf）

後援：日本国文部科学省、在フィリピン日本大使館、  
在日フィリピン大使館

助成：（公財）高橋産業経済研究財団

協賛：フィリピン大学連合および50を超える日本とフィリピンの組織や個人の方々。

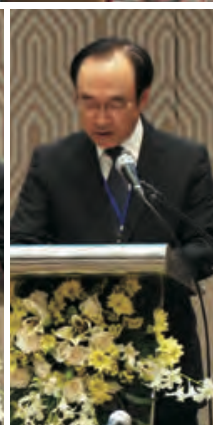
サポート：フィリピンプラザ・ホールディングス

22カ国から約350名の参加者を得て開催。「持続的な共有型成長」のビジョンを議論すると共に実現のための途を探ること、そして各国の若手研究者に国際的かつ学際的な交流の場を提供することを目的とするアジア未来会議。今回は基調講演とシンポジウム、二つの円卓会議、そして50のセッションでは数多くの研究論文の発表が行われ活発な議論が繰り広げられた。そして国際的、学際的な交流の絆が生まれていった。



### 開会式

10日（金）午前9時30分から開会式が始まった。高校生の合唱隊によるお祈りの後、明石康大会会長が第5回アジア未来会議の開会を宣言した。共催のフィリピン大学ロスバニョス校のF.C. サンチェス学長の歓迎の挨拶に続き、羽田浩二駐フィリピン日本大使とフィリピン大学のD.L. コンセプション総長より祝辞を頂戴した。





## 第5回 アジア未来会議

### 基調講演・シンポジウム

開会式に引き続き、J.C. ラウレル駐日フィリピン大使の「ソーシャルメディア時代に持続可能な開発目標を達成するために」と題した基調講演があった（上段）。その後、渥美財団の第1期奨学生でフィリピン大学ロスバニョス校助教授のF.C. マキト氏の進行で、フィリピンの5名の経済学、政治学、社会人類学のパネリストがアジア未来会議の総合テーマである「持続的な共有型成長」について論じた（下段）



### ウェルカムパーティ

10日午後、開会式のあとに円卓会議A、Bと10の分科会セッションが並行して開催され、夜はウェルカムパーティが盛大に行われた。立食式の会場にはフィリピン料理なども並び、参加者たちが親睦を深めた。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
第5回アジア未来会議報告 参照。



## 円卓会議 A

円卓会議 A「第4回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」は、東アジアの歴史和解を実現するとともに、国民同士の信頼を回復し、安定した協力関係を構築するためには歴史を乗り越えることが一つの課題であると捉え、日本の「日本史」、中国の「中国史」、韓国の「韓国史」を対話させる試み。第4回目となる今回は19世紀の歴史に焦点を当て「東アジアの誕生－19世紀における国際秩序の転換－」というテーマで活発な議論が展開された。（日中韓同時通訳）

## 第4回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性 「東アジアの誕生－19世紀における国際秩序の転換－」

第63回 SGRA フォーラム



9日午前9時、円卓会議Aが始まった。第1セッションでは開会挨拶および歓迎挨拶に続いて、三谷博氏による基調講演「『アジア』の発明－19世紀におけるリージョンの生成－」。その後の討論でも共通して「『アジア』とは何か」「共同の歴史のための研究者の役割」「歴史の大衆化の問題」などの問題が提起された。



続いて発表セッションが行われた。第2セッションのテーマは「西洋の認識」、司会は第1セッションに引き続き劉傑氏が担当。第3セッションのテーマは、「伝統への挑戦と創造」で司会は村和明氏。一日目を締めくくる第4セッションのテーマは「国境を越えた人の移動」で、司会は彭浩氏が務めた。



10日に行われた第5・第6、二つのセッションは自由討論で構成され、以前の3回までの会議に比べてさらに活発な対話が行われた。最後にアジア未来会議の明石康大会長が、「豊かな議論がなされれば、議論が一致しなくても多くの教訓を導き出すことができる」とし、「この対話を最後までよく続けてほしい」と話された。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
エッセイ619：金キョンテ「第4回国史対話レポート」参照。

## 第5回 アジア未来会議

### 円卓会議 B

今回は「社会倫理とグローバル経済—宗教は市場経済の暴虐を止められるか」をテーマに討論が行われた。東南アジア諸国はかつてない経済成長と発展をおう歌っているが、富と権力は一極に集中し、地域コミュニティは疲弊している。こうした問題意識に基づき、フィリピン、インドネシア、タイから宗教家と経済学者を招いて議論が展開された。民族、宗教、文化の異なる東南アジアには過去の人々が成功と失敗に基づく経験知を通じて築き上げてきたさまざまな叡智やシステムがある。それらは「混迷する」と言われる現代の経済学や経済社会にどのような光をあてるのだろうか（使用言語：英語）。

### 第3回東南アジア文化／宗教間の対話 「社会倫理とグローバル経済」

### 第64回 SGRA フォーラム



会議冒頭、平川均名誉教授は「もう一度、アジア各地で息づいてきた宗教、伝統文化のなかに、新たな経済のかたちを考えるヒントがあるのではないか」と呼びかけた。



基調講演を行ったのは、フィリピン歴代大統領の経済顧問を務めてきたフィリピンを代表する経済学者、アジア太平洋大学のバーナード・ヴィレガス教授。



平川・ヴィレガス両経済専門家の問題提起を受け、仏教、イスラム教、キリスト教を基盤に行動し続けている知識人3人が発表を行った。

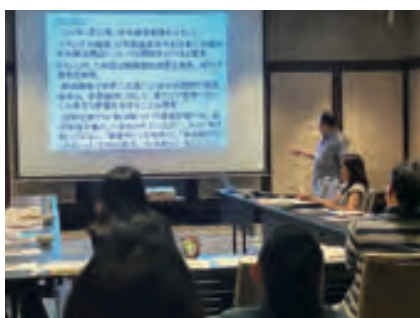


国際協調の精神が危機に瀕している今だからこそ、専門の垣根を越えて集まり、世界が抱えている問題について議論すること、そして行動することが求められている。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
エッセイ623：小川忠「経済学と宗教実践—壁を乗り越える試み：円卓討議『東南アジア文化／宗教間の対話』に参加して」参照。

### パラレルセッション in ベルビューホテル

10日午後と11日を合わせ、グループセッション、学生セッション、一般セッション、計50セッションが行われ、201本の論文が発表された。アジア未来会議は国際的かつ学際的なアプローチを目指しており、各セッションは、発表者が投稿時に選んだ「共有型成長」「平和」「環境」「イノベーション」などのトピックに基づいて調整され、学会とは趣を異にした多角的で活発な議論が展開された。





**パラレル  
セッション  
in フィリピン大学  
ロスバニョス校**

11日（土）午前8時、参加者は全員7台の大型バスに約1時間乗ってフィリピン大学ロスバニョス校に向かった。今回の会場は、広大なキャンパスの中の森林学部で、参加者は冷房の効いたホテルの会議室から自然の中に解放され、円卓会議Bと40にわたる分科会セッションが開催された。お昼には参加者は植物園まで散策し、森の中でお弁当を楽しんだ。



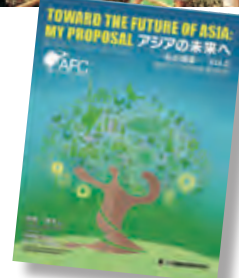
詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
エッセイ618：フェルディナンド・マキト「母国で開催したアジア未来会議」 参照。



## 第5回 アジア未来会議

### Closing Party / 授賞式

分科会セッションの後に参加者は再びバスに乗って山の上のアートセンターに移動し、午後6時30分からクロージングパーティーを開催。学生サークルによる歌とダンスの宴もたけなわの頃、優秀賞の授賞式が行われた。授賞式では、優秀論文の著者20名が壇上に上がり、明石康大会委員長から賞状の授与があった。続いて、優秀発表賞50名が表彰された。パーティーの終盤では、第6回アジア未来会議の概要の発表があり、共催者である台湾の中国文化大学の徐興慶学長による招待のスピーチとビデオによる台北市と大学のプレゼンテーションが行われた。



『第5回アジア未来会議優秀論文集』

### 第6回アジア未来会議は 2021年8月に台北市で 開催。

テーマ：アジアを創る、  
未来へ繋ぐ  
—みんなの問題、みんなで解決—



### ラクーン 大活躍！

50名を超すラクーン（元渥美奨学生）が参加。実行委員会、学術委員会など様々な委員会が組織され、企画、ホームページの維持管理、優秀賞の選考、写真撮影まで、大会運営のあらゆる業務を担当。2名しかいないフィリピン出身のラクーンは企画立案から大会終了まで2年間にわたり大活躍だった。



### スタディツアー

12日（日）、参加者はそれぞれ、マニラ観光ツアー、ケソンシティー観光ツアー、タガイタイ観光ツアーに参加。そして1911年以来というタール火山の噴火に遭遇することとなった。翌13日（月）の帰国日、マニラの国際空港では欠航や遅れが相次ぎ、200名以上の会議参加者に影響を及ぼし、70名以上が会議場ホテルで延泊、それ以上が空港ターミナルや市内のホテルで長時間の待機を余儀なくされた。





## 第9回日台アジア未来フォーラム

### 帝国日本の知識とその植民地 —台湾と朝鮮—

日 時：2019年5月31日（金）

会 場：国立台湾大学凝態センター国際会議ホール

共同主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）、  
国立交通大学文化研究国際センター、中央研究院政治思想研究專題センター、  
台湾大学日本研究センター、文化大学東アジア人文社会研究院

後 援：台湾日本人・日台交流部会

協 賛：中鹿營造（股）有限公司

近代日本帝国における知識の在り方と日本帝国の植民地だった台湾、朝鮮との関連、また日本帝国の諸植民地における人間の移動と交流を、思想史と文学史の視点から探究した。基調講演の山室信一先生はじめ、日本・韓国・台湾から研究者が集まり興味深い発表と討論が続ぎ、大変充実した1日となった。なお、フォーラムの案内を発表した1週間後には200名以上の参加申し込みがあり、このテーマへの関心の高さをあらためて認識した。



京都大学名誉教授の山室信一先生が「日本の帝国形成における学知と心性」というテーマで基調講演を行った。



会議当日、200席の会場は開会から閉会までほぼ満席状態であった。会議の様子は台湾の新聞に報道された。



「帝国日本の知識と台湾（一）：思想史」、「帝国日本の知識と台湾（二）：歴史と文学」、「帝国日本の知識と朝鮮」、という三つのセッションに分けて帝国日本の知識とその植民地に関わる諸問題に焦点を当て、9本の論文が発表された。



多くの参加者が最後まで残っていた。今回の日台アジア未来フォーラムは大成功であったと、多くの方々から高い評価をいただいた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
藍弘岳「第9回日台アジア未来フォーラム『帝国日本の知識とその植民地：台湾と朝鮮』報告」参照

## 第13回 SGRA チャイナ・フォーラム

### 国際日本学としてのアニメ研究

#### —メディアミックスとキャラクター共有の歴史的展開—

日時：2019年10月19日（土）

会場：北京外国語大学北京日本学研究中心

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：中国人民大学文学院、清華東亜文化講座

助成：国際交流基金北京日本文化センター



国際日本文化研究センターの大塚英志教授（左上）と北京日本学研究中心の秦剛教授（右上）による講演の後、北京大学マンガ図書館館長古市雅子先生と東京大学総合文化研究科博士課程の陳襲さんが加わり、総合討論が行われた。

「メディアミックス」は、日本のアニメーションを中心とするコンテンツ産業の特徴的手法とされ、アニメの学術研究の新しい領域として注目を集めている。本フォーラムでは、これまでの研究では不十分であったメディアミックスの東アジアでの歴史的な起源について膨大な資料と斬新な視点を基に中日双方から検証した。



今回のフォーラムは専門用語と作品名が多く、情報量も膨大だった。若い学生さんを中心に120名を超える参加者を迎え、満席の大盛況であった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>

陳襲「第13回 SGRA チャイナフォーラム『国際日本学としてのアニメ研究：メディアミックスとキャラクター共有の歴史的展開』報告」参照

## 第27回日比持続可能な共有型成長セミナー

### 地価税—地方分権のメカニズム—

日時：2019年11月16日（土）

場所：フィリピン大学ロスバニョス校公共政策開発大学院

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

フィリピン大学ロスバニョス校公共政策開発大学院のロランド・ペロ学長の基調講演に続き、10名のパネリストがフィリピンの農業や地域開発にとっての大きな課題である「地価税」についての発表と討論を繰り広げた。



日本が経験してきた「成長の共有」の研究をベースとして、経済成長の果実を社会で共有することにより公正で効率的で環境にやさしい社会を実現するための政策提言を目的とするセミナー。SGRA フィリピンとフィリピン大学ロスバニョス校が協力して開催されている。

詳細は <http://www.aisf.or.jp/sgra/english/> 「SGRA Sustainable Shared Growth Seminar 27 Report」参照



## 東アジア日本研究者協議会 第4回国際学術大会に参加

日時：2019年11月1日（金）～3日（日）

会場：福華国際文教会館、台湾大学

主催：第4回東アジア日本研究者協議会、台湾大学日本研究センター

東アジア日本研究者協議会は、東アジアの日本研究に携わる研究者の学術と人的交流を目的として2016年に発足。日本研究の質的な向上、自国中心の日本研究から多様な観点に基づく日本研究への志向、東アジアの安定と平和への寄与の三つを掲げている。その理念に賛同し、SGRAからは今年も3チームが参加した。

### 参加パネル1 明治期の小説と口絵・挿絵—絵の役割—



文学研究では、挿絵は小説の付属品だと思われがちであり、本文と挿絵との関係についての研究は少ない。本パネルでは、口絵・挿絵と小説との相互関係について議論した。

### 参加パネル2 ODA とアジア：再評価の試み



今まで日本の政策決定のプロセスや戦略意図についての論考が多かったが、本パネルでは日本の対アジア主要国 ODA のレビューに重点を置いて議論した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 梁蘊嫻「第4回東アジア日本研究者協議会パネル『明治期の小説と口絵・挿絵—絵の役割—』報告」、李恩民「第4回東アジア日本研究者協議会パネル『日本のODAとアジア：再評価の試み』報告」、アキバリ・フーリエ「第4回東アジア日本研究者協議会パネル『日本における女性ムスリムの現状、留学中に直面する課題と彼女らの挑戦』報告」参照。

### 参加パネル3 日本における女性ムスリムの現状—留学中に直面する課題と彼女らの挑戦—



5人の在日ムスリム女性へのインタビュー調査結果の報告を踏まえ、現在の日本社会が抱える異文化共生の問題を議論し、今後の多文化共生社会のあり方を模索した。



## 第12回 SGRA カフェ

### 『混血』と『日本人』 ハーフ・ダブル・ミックスの社会史

日時：2019年7月27日（土）

会場：鹿島新館・渥美財団ホール

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRA カフェは、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺う＜場＞として開催するもの。第12回となる今回は、『『混血』と『日本人』——ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』の著者、下地 ローレンス吉孝さんを招き、いわゆる「ハーフ」と呼ばれてきた人々に注目し、「日本人」という実は曖昧な言葉の境界について、参加者とともに考えた。



下地先生の素晴らしい講演は来場者からの拍手の中、終了した。その後、今回のカフェに参加していた「ハーフ」の方々も自分の経験談を皆さんにシェアし、貴重なご意見と有意義なコメントが集まった。とても勉強になった2時間だった。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 金弘淵「第12回 SGRA カフェ『『混血』と『日本人』：ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』報告」参照。

## 第8回 SGRA ふくしまスタディツアー

### 「ふるさと」の再生

日程：2019年9月21日（土）～23日（月・祝）  
主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）  
協力：認定NPO法人 ふくしま再生の会

SGRAは2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを行っている。今回のツアーでは、新しいふるさとづくりのシンボルとしての「佐須の地域再生可能エネルギー事業」と住民とボランティアアーティストを中心に計画されている「飯舘村アートプロジェクト」に焦点を当て、新しいふるさとづくりのヴィジョンと計画を共に考えた。



初日は東京電力「廃炉資料館」を見学した後、「ふくしま再生の会」の田尾理事長、飯舘村アートプロジェクトに参加する矢野淳さんなどからレクチャーを受け、翌日は溝口東大教授の案内でトルコキキョウなどのハウス栽培農家、遠隔監視装置が装備された牛舎、放射線セシウムの除染工事の跡が窺える「松塚土壌博物館」、経済作物として見込まれ栽培実験中の漆（うるし）の畑など、被災後9年が過ぎた飯舘村の再生の試みの現在を見学。将来への課題は山積するものの、ハウス一杯に咲き乱れるトルコキキョウの美しさには、栽培農家の再生への強い「想い」が感じられた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
楊淳婷「第8回ふくしまスタディツアー『ふるさとの再生』報告」参照。

## CISV IPP (International People's Project) ふくしま 2019 に参加

日程：2019年8月16日（金）～19日（月）  
主催：公益社団法人 CISV 日本協会関東支部  
共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）  
協力：認定NPO法人ふくしま再生の会

福島県飯舘村で8月11日から24日まで、CISVが主催するIPPキャンプが世界9か国20名の参加で開催され、「ふくしま再生の会」のメンバーや村民の方々との交流、アクティビティーを行った。SGRAからは7名が通訳などとして、16日から19日までの3日間ボランティア参加した。



CISVは「平和を築くための礎は子どもにある」との信念のもとに1950年にアメリカで設立され、世界70カ国が参加するグローバル組織。CISV日本協会が主催する「IPP ふくしま 2019」は、原発事故から8年の村や家族の「物語（ストーリー）」を世界に知ってほしいとの願いから開催された。

CISV についての詳細は <https://www.cisv.jp/> 参照。



## 2019年度 業務日誌

|           |                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月3日      | 4月例会（於：学習院・目白倶楽部）                                                                            |
| 5月7日      | 5月例会：個人面談（13日まで）                                                                             |
| 17日       | SGRA レポート第84号 第11回 SGRA チャイナフォーラム講演録<br>「東アジアから見た中国美術史学」発行                                   |
| 18日       | 第28回理事会（2018年度事業及び決算報告 その他）<br>（於：アルカディア市ヶ谷）                                                 |
| 31日       | 第9回日台アジア未来フォーラム「帝国日本の知識とその植民地：台湾と韓国」<br>（於：台湾大学）                                             |
| 6月1日      | 2018年度年報発行                                                                                   |
| 6日        | 第11回評議員会（2018年度事業及び決算報告、役員選任）・親睦会（6月例会）<br>（於：鹿島 KI ビル）<br>第29回理事会（理事長、常務理事選任（書面決議））         |
| 7月1日      | 2020年度奨学生募集要項配布（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）                                                        |
| 5日～7日     | 蓼科ワークショップ「AIは怖くない！」（於：大興蓼科山荘）                                                                |
| 27日       | 第12回 SGRA カフェ<br>「『混血』と『日本人』 ハーフ・ダブル・ミックスの社会史」（於：渥美財団ホール）<br>8月例会：真夏の夜のバーベキューパーティ（於：渥美財団ホール） |
| 8月16日～19日 | CISV IPP ふくしま 2019 に参加                                                                       |
| 9月1日      | 2020年度奨学生応募受付開始                                                                              |
| 3日        | 9月例会：個人面談（7日まで）                                                                              |
| 20日       | SGRA レポート第86号 第3回国史たちの対話の可能性円卓会議講演録<br>「17世紀東アジアの国際関係ー戦乱から安定へ」発行                             |
| 21日～23日   | 第8回ふくしまスタディツアー「『ふるさと』の再生」                                                                    |
| 30日       | 2020年度奨学生応募締め切り（応募者総数 77 名）                                                                  |
| 10月4日     | 10月例会：食事会（於：アラビアレストラン ゼノビア（シリア料理））                                                           |
| 5日～9日     | 2020年度奨学生書類審査                                                                                |
| 19日       | 第13回 SGRA チャイナフォーラム 「国際日本学としてのアニメ研究：<br>メディアミックスとキャラクター共有の歴史的展開」（於：北京外国語大学）                  |
| 11月1日～3日  | 東アジア日本研究者協議会 第4回国際学術会議（於：福華国際文教会館・台湾<br>大学）                                                  |
| 1日        | SGRA レポート第89号 第62回 SGRA フォーラム講演録<br>「再生可能エネルギーが世界を変える時…？ー不都合な真実を超えて」発行                       |
| 6日～13日    | 2020年度奨学生候補者予備面接                                                                             |
| 21日       | 11月例会：工事現場見学会「まちづくりプロジェクト」                                                                   |
| 22日       | SGRA レポート第85号 第17回日韓アジア未来フォーラム講演録<br>「北朝鮮開発協力：各アクターから現状と今後を聞く」発行                             |
| 12月7日     | 2020年度奨学生最終選考                                                                                |
| 14日       | 第30回理事会（2019年度事業及び決算中間報告）（於：渥美財団ホール）<br>忘年会（於：渥美財団ホール）                                       |
| 1月9日～13日  | 第5回アジア未来会議<br>「持続的な共有型成長ーみんなの故郷、みんなの幸福」（於：フィリピン・アラ<br>バン ベルビューホテル・フィリピン大学ロスバニョス校）            |
| 20日       | 1月例会：個人面談（24日まで）                                                                             |
| 2月1日      | 新年会（於：渥美財団ホール）                                                                               |
| 3月7日      | 第31回理事会（2020年度事業計画及び収支予算 その他）<br>（於：リーガロイヤルホテル東京）<br>3月例会：2019年度奨学生研究報告会（於：渥美財団ホール）          |
| 9日        | 2019年度奨学生最後の食事会（於：ホテル椿山荘東京 木春堂）                                                              |

# 財務諸表

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目           | 金 額             |
|---------------|-----------------|
| I 資産の部        |                 |
| 1 流動資産        | 6,899,856       |
| 2 固定資産        |                 |
| (1) 基本財産      | 3,931,467,027   |
| (2) 特定資産      | 274,019,528     |
| (3) その他の固定資産  | 332,626         |
| 固定合計          | 4,205,819,181   |
| 資産合計          | 4,212,719,037   |
| II 負債の部       |                 |
| 1 流動負債        | 2,097,252       |
| 2 固定負債        | 4,680,000       |
| 負債合計          | 6,777,252       |
| III 正味財産の部    |                 |
| 1 指定正味財産      | 4,205,486,555   |
| (うち基本財産への充当額) | (3,931,467,027) |
| (うち特定資産への充当額) | (274,019,528)   |
| 2 一般正味財産      | 455,230         |
| 正味財産合計        | 4,205,941,785   |
| 負債及び正味財産合計    | 4,212,719,037   |

## 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目             | 金 額             |
|-----------------|-----------------|
| I 一般正味財産増減の部    |                 |
| 1. 経常増減の部       |                 |
| (1) 経常収益        |                 |
| 基本財産運用益         | 62,377,010      |
| 特定資産運用益         | 662,951         |
| 事業収入            | 14,931,369      |
| 受取補助金等          | 2,000,000       |
| 受取寄附金           | 40,345,360      |
| 為替差益            | 65,334          |
| 雑収益             | 62,373          |
| 経常収益計           | 120,444,397     |
| (2) 経常費用        |                 |
| 事業費             | 114,328,936     |
| 管理費             | 6,115,461       |
| 経常費用計           | 120,444,397     |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 0               |
| 評価損益等計          | 0               |
| 当期経常増減額         | 0               |
| 2. 経常外増減の部      |                 |
| (1) 経常外収益       |                 |
| 経常外収益計          | 0               |
| (2) 経常外費用       |                 |
| 経常外費用計          | 0               |
| 当期一般正味財産増減額     | 0               |
| 一般正味財産期首残高      | 455,230         |
| 一般正味財産期末残高      | 455,230         |
| II 指定正味財産増減の部   |                 |
| 受取寄附金           | 4,071,000       |
| 基本財産株式          | 1,141,280,000   |
| 基本財産運用益         | 102,000,000     |
| 基本財産評価損益等       | ▲ 1,050,000,000 |
| 特定資産評価損益等       | 129,114         |
| 一般正味財産への振替額     | ▲ 79,549,248    |
| 当期指定正味財産増減額     | 117,930,866     |
| 指定正味財産期首残高      | 4,087,555,689   |
| 指定正味財産期末残高      | 4,205,486,555   |
| III 正味財産期末残高    | 4,205,941,785   |



# 財団人名簿

(2020年4月1日現在)

## 評議員

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 渥美直紀  | 評議員会長 鹿島建設株式会社代表取締役副社長   |
| 明石 康  | 公益財団法人国立京都国際会館理事長        |
| 秋山 豪  | 鹿島建設株式会社社友               |
| 渥美雅也  | 一般財団法人東京水産振興会会長          |
| 蟻川芳子  | 学校法人日本女子大学理事長            |
| 井上博允  | 東京大学名誉教授 元日本学術振興会監事      |
| 加藤秀樹  | 一般社団法人構想日本代表             |
| 鹿取克章  | 外務省参与 元駐インドネシア日本大使       |
| 佐藤直子  | 東京国際大学教授                 |
| 遠山友寛  | TMI 総合法律事務所パートナー 弁護士     |
| 永山 治  | 中外製薬株式会社特別顧問 名誉会長        |
| 畑村洋太郎 | 東京大学名誉教授 株式会社畑村創造工学研究所代表 |
| 堀田健介  | 株式会社堀田総合事務所代表取締役会長       |
| 八城政基  | 元株式会社新生銀行取締役会長           |
| 山本尚子  | 公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事 事務局長  |

## 監事

|      |                    |
|------|--------------------|
| 上野 宏 | 株式会社村田製作所取締役 監査等委員 |
| 中村金郎 | 鹿島建設株式会社社友         |

## 理事

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 渥美伊都子 | 理事長                      |
| 今西淳子  | 常務理事                     |
| 片岡達治  | 元癌研究会主任研究員               |
| 金 外淑  | 兵庫県立大学看護学部心理学系教授         |
| 高 偉俊  | 北九州市立大学国際環境工学部教授         |
| 嶋津忠廣  | 前渥美国際交流財団事務局長            |
| 高橋 甫  | 公益財団法人日本テニス協会常務理事        |
| 平川 均  | 名古屋大学名誉教授 国土舘大学客員教授      |
| 藤井純一  | 公益財団法人かめのり財団理事           |
| 李 恩民  | 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授 |
| 角田英一  | 事務局長                     |

## 選考委員

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 田村次朗  | 委員長 慶應義塾大学法学部教授（法学）                 |
| 佐野みどり | 学習院大学文学部教授（美術史）                     |
| 細田衛士  | 慶應義塾大学名誉教授 中部大学経営情報学部教授（環境経済学）      |
| 山科 章  | 東京医科大学名誉教授 東京医科大学医学教育推進センター特任教授（医学） |
| 金子成彦  | 東京大学名誉教授 早稲田大学理工学術院教授（機械工学）         |
| 奥田暁代  | 慶應義塾大学法学部教授（英語、地域文化論）               |

# 奨学生名簿

## 【1995 年度奨学生】

**Bambling, Michele** バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女：コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史)：(在アブダビ)

**Gao Lingna** 高 玲娜 [中国] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在横須賀)

**Gao Weijun** 高 偉俊 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

**Jin Xi** 金 熙 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理情報学)：Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

**Kwack Jae-Woo** 郭 在祐 [韓国] 男：学習院大学 [博士] (美術史)：日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

**Maquito, Ferdinand** マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男：東京大学 [博士] (経済学)：フィリピン大学ロスバニョス校准教授 (在フィリピン・ロスバニョス)

**Park Chul-Ju** 朴 哲主 [韓国] 男：慶應大学 [博士] (商学)：三育大学経営学部 (在ソウル)

**Park Jung-Ran** 朴 貞蘭 [韓国] 女：日本女子大学 [博士] (社会福祉学)：仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

**Shi Jianming** 施 建明 [中国] 男：筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学)：東京理科大学経営学部教授

**Yao Hui** 葉 会 [中国] 男：早稲田大学 (日本文学)：法政大学国際文化情報学部非常勤講師

**Youn Seok-Hee** 尹 錫姫 [韓国] 女：専修大学 [博士] (商学)：仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

**Chen Xiao** 陳 曉 [中国] 男：神戸大学 (医学)

**Horng Der-Juinn** 洪 徳俊 [台湾] 男：神戸大学 [博士] (経営学)：国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾・桃園)

**Wang Libin** 王 立彬 [中国] 男：神戸大学 (自然科学)：(株) 東洋インキ製造 (在上海)

## 【1996 年度奨学生】

**Chantachote, Viravat** チャンタチャオテ ビラバット [タイ] 男：慶應義塾大学 [博士] (法学)：タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

**Gulench, Selim Yucel** グランチ、セリム [トルコ] 男：東京大学 (政治学)：コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ・コンヤ市)

**Khin Maung Htwe** キン マウン トウエ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (応用物理)：Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

**Kim Woong-Hee** 金 雄熙 [韓国] 男：筑波大学 [博士] (国際政治経済学)：仁荷大学校国際通商学部教授 (在仁川)

**Lee Nae-Chan Huey** 李 來賛 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (管理工学)：漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

**Nam Ki-Jeong** 南 基正 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際関係論)：ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

**Park Keun-Hong** 朴 根弘 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (生命理工学)

**Qiao Xin** 喬 辛 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (無機材科学)

**Trede, Melanie Maria** トレーデ、メラニー [ドイツ] 女：ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

**Zhao Qing** 趙 青 [中国] 女：お茶の水女子大学 (比較文化)

**Zhu Tingyao** 朱 庭耀 [中国] 男：東京大学 [博士] (船舶海洋工学)：日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

## 【1997 年度奨学生】

**De Maio, Silvana** デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女：東京工業大学 [博士] (日本語教育)：ナポリ東洋大学アジア、アフリカ、地中海学科学教授 (在ナポリ)

**Fang Meili** 方 美麗 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (言語学)：(在ロンドン)

**Isananto, Winurshito** イサナント、ウィスルシト [インドネシア] 男：慶應義塾大学 [博士] (応用化学)：インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所：(在インドネシア)

**Kim Woe-Sook** 金 外淑 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (健康科学)：兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

**Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi)** 片桐カノックワン、ラオハブラナキット (ノイ) [タイ] 女：筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育)：チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

**Lee Hyang-Chul** 李 香哲 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：光云大学日本学科教授 (在ソウル)

**Li Enmin** 李 恩民 [中国] 男：一橋大学 [博士] (社会学)：桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

**Nizamidin Jappar** ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男：東京大学 [博士] (応用化学)：キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

**Wang Yuepeng** 王 岳鵬 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

**Williams, Duncan** ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男：ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学)：南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンジェルス)

**Zhang Shao-min** 張 紹敏 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：(株) 涅槃会館代表 (在岡山)

## 【1998 年度奨学生】

**Adiole, Emmanuel** アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男：東京大学 [博士] (政治学)：ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

**Cao Bo** 曹 波 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：株式会社北京 NTT データジャパン

**He Zuyuan** 何 祖源 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学)：上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

**Hu Jie** 胡 潔 [中国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (文学)：名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

**Kim Jaesung** 金 宰晟 [韓国] 男：東京大学 (仏教学)：仏教大学院大学 (在ソウル)

**La Insook** 羅 仁淑 [韓国] 女：早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学)：国士舘大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

**Lee Joo-Ho** 李 周浩 [韓国] 男：東京大学 [博士] (電子工学)：立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授 (在滋賀)

**Mailisha** マイリリーサ [中国 (内モンゴル)] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：昭和女子大学国際学部国際学科教授

**Sun Yanping** 孫 艶萍 [中国] 女：東京大学 [博士] (医学)：コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

**Wu Hongmin** 呉 弘敏 [中国] 女：東京工業大学 [博士] (精密工学)：フクダ電子 (株)

**Xu Xiaoyuan** 許 曉原 [中国] 女：東京大学 [博士] (農業生命科学)：コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

## 【1999 年度奨学生】

**Coimbra, Maria Raquel Moura** コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：ベルナンブコ州立大学農水学部 (在ブラジル・ベルナンブコ)

**Hong Kyung-Jin** 洪 京珍 [韓国] 女：東京工業大学 [博士] (化学環境工学)：韓国環境省 (在ソウル)

**Hou Yankun** 侯 延昆 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理電子工学／薬学)：UBS Investment Research (在香港)

**Ju Yan** 具 延 [中国] 男：筑波大学 [博士] (農学)：メッツォペーパージャパン (株)



**Li Gangzhe 李 鋼哲** [中国] 男：立教大学（経営学／経済学）：北陸大学未来創造学部教授（在金沢）

**Musikasinthorn, Prachya ムシカシントーン、プラチヤー** [タイ] 男：東京水産大学 [博士]（資源育成学）：カセサート大学水産学部所助教授（在バンコク）

**Vu Thi Minh Chi ブティミンチー** [ベトナム] 女：一橋大学 [博士]（地域研究）：ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員（在ハノイ）

**Wang Dan 王 旦** [中国] 男：東京藝術大学 [博士]（音楽）：バイオリンスト／昭光物産（株）

**Yang Jie Chi 楊 接期** [台湾] 男：東京工業大学 [博士]（教育工学）：国立中央大学網路學習科技研究所教授（在台湾・桃園）

**Yeh Wen-chang 葉 文昌** [台湾] 男：東京工業大学 [博士]（電子物理工学）：島根大学総合理工学研究科准教授（在松江）

**Zhou Haiyan 周 海燕** [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士]（医学）：たてやまクリニック院長（在富山）

## [2000 年度奨学生]

**Jin Zhengwu 金 政武** [中国] 男：東京工業大学 [博士]（物質科学）：ソニー株式会社

**Jung Jae Ho 鄭 在皓** [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士]（物質科学）：三星電子 LCD 総括 LCD 開発室（在天安）

**Jung Sung Chun 鄭 成春** [韓国] 男：一橋大学 [博士]（経済学）：対外経済政策研究院（KIEP）（在世宗市）

**Ko Hee Tak 高 熙卓** [韓国] 男：東京大学 [博士]（総合文化）：（株）グローバル・ニュース（Glocal News）代表理事（在済州）

**Lim Chuan-Tiong 林 泉忠** [香港] 男：東京大学 [博士]（国際政治学）：武漢大学国際問題研究院教授・副院長・日本研究センター執行主任（在武漢）

**Molnar, Margit モルナール、マルギット** [ハンガリー] 女：慶應義塾大学 [博士]（経済学）：OECD 研究員（在パリ）

**Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラゲ チャンドラシリ** [スリランカ] 男：東京大学 [博士]（電子情報）：工学院大学情報学部准教授

**Ren Yong 任 永** [中国（内モンゴル）] 男：群馬大学 [博士]（医学）：ニューヨーク州立大学医学部研究員（在米バッファロー）

**Suzuki Sato, Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ** [メキシコ] 女：慶應義塾大学（経済学）：（在東京）

**Wu Yuping 武 玉萍** [中国] 女：千葉大学 [博士]（医学）：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター（CDB）（在神戸）

**Xu Xiangdong 徐 向東** [中国] 男：立教大学 [博士]（社会学）：（株）中国市場戦略研究所代表取締役

**Zeng Zhinong 曾 支農** [中国] 男：東京大学 [博士]（アジア文化）：湖北省留學人員聯誼会会長（在武漢）

## [2001 年度奨学生]

**Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン** [中国（内モンゴル）] 男：早稲田大学 [博士]（東洋史）：滋賀県立大学人間文化学部教授（在彦根市）

**Fan Jianting 範 建亭** [中国] 男：一橋大学 [博士]（経済学）：上海財經大學国際工商管理學院助教授（在上海）

**Jeon Jin Hwan 全 振煥** [韓国] 男：東京工業大学 [博士]（建築材料）：鹿島建設（株）技術研究所主任研究員

**Jiang Huiling 蔣 恵玲** [中国] 女：横浜国立大学 [博士]（電子情報工学）：（株）NTT ドコモ研究開発センター主査

**Jin Xianghai 金 香海** [中国] 男：中央大学 [博士]（政治学）：逝去

**Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ** [マケドニア／イタリア] 男：東京都立科学技術大学 [博士]（システム工学）：パナソニック・ヨーロッパ社（在フランクフルト）

**Lee Hyun-Young 李 炫瑛** [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士]（比較文化）：建国大学教師範大学日本語教育科助教授（在ソウル）

**Lee Young-Suk 李 英淑** [韓国] 女：筑波大学 [博士]（教育学）：（在金山）

**Liang Xingguo 梁 興国** [中国] 男：東京大学 [博士]（化学生命工学）：中国海洋大学食品科学と工程学院教授（在青島）

**Lwin U Htay ユ ティ ルイン** [ミャンマー] 男：東京医科歯科大学 [博士]（社会医学及び公衆衛生学）：ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長（在ヤンゴン）

**Qi Jin Feng 奇 錦峰** [中国（内モンゴル）] 男：東京医科歯科大学 [博士]（薬理学）：広東藍島生物技術公司 Director of Center for Primates R&D, Deputy VGM（在広州）

**Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ スマンティヨ、ヨサファット テトォコ** [インドネシア] 男：千葉大学 [博士]（人工システム科学）：千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻長・リモートセンシングコース長

## [2002 年度奨学生]

**Baek Insoo 白 寅秀** [韓国] 男：早稲田大学 [博士]（商学）

**Chen Tzu-Ching 陳 姿菁** [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士]（国際日本学）：開南大学応用日本語学科・応用中国語学科副教授（在台北）

**Jo Gyuhwan 曹 奎煥** [韓国] 男：早稲田大学 [博士]（地質学）：JX 石油開発株式会社（在クアラルンプール）

**Hu Bianqun 胡 炳群** [中国] 男：日本工業大学 [博士]（システム工学）：日豊興業株式会社（在名古屋／広州）

**Iko Pramudiono イコ プラムディオノ** [インドネシア] 男：東京大学 [博士]（電子情報工学）：三井物産（株）事業統括部

**Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン** [モンゴル] 男：一橋大学 [博士]（地域社会学）：（在米カンザス）

**Mukhopadhyaya, Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャナ** [インド] 女：東京大学 [博士]（宗教学宗教史）：デリー大学・東アジア研究科准教授（在デリー）

**Park Young-June 朴 榮濬** [韓国] 男：東京大学 [博士]（国際社会科学）：国防大学校安全保障大学院教授（在ソウル）

**Sun Jianjun 孫 建軍** [中国] 男：国際基督教大学 [博士]（日本語学）：北京大学外国語学院准教授（在北京）

**Wang Xi 王 溪** [中国] 男：東京大学 [博士]（電子情報工学）

**Yimit, Abliz イミテ、アブリズ** [中国（ウイグル）] 男：横浜国立大学 [博士]（人工環境システム）：新疆大学化学化工学院教授（在ウルムチ）

**Yu Xiaofei 于 曉飛** [中国] 女：千葉大学 [博士]（社会文化科学）：日本大学法学部准教授

## [2003 年度奨学生]

**Chae Sang Heon 蔡 相憲** [韓国] 男：東京農工大学 [博士]（生物生産学）：天安蓮庵大学新環境園芸科教教授（在韓国・天安）

**Chang Kuei-e 張 桂娥** [台湾] 女：東京学芸大学 [博士]（学校教育学（言語文化））：東呉大学日本語文学系副教授（在台北）

**Husel フスレ** [中国（内モンゴル）] 男：東京外国語大学 [博士]（地域文化）：昭和女子大学人間文化学部国際学科教授

**Kim Hyeon Wook 金 賢旭** [韓国] 女：東京大学 [博士]（総合文化（表象文化））：国民大学日本学科副教授（在ソウル）

**Kwak Jiwoong 郭 智雄** [韓国] 男：立教大学 [博士]（経営学）：九州産業大学商学部商学科准教授（在福岡）

**Lin Shaoyang 林 少陽** [中国] 男：東京大学 [博士]（総合文化（超域文化））：香港城市大學中文及歴史学科教授（在香港）

**Lu Yuefeng 陸 躍鋒** [中国] 男：東京海洋大学（海洋情報システム）：Merit Intelligence Development Centre, Director（在トロント）

**Piao Zhenji 朴 貞姫** [中国] 女：明海大学 [博士]（応用言語学）：北京語言大学外国語学院日本語学部教授（在北京）

**Tisi, Maria Elena ティシ、マリア エレナ** [イタリア] 女：白百合女子大学 [博士]（児童文学）：ポローニャ大学、ペルージャ外国人大学非常勤講師（在ポローニャ）

**Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ** [ブラジル] 女：一橋大学 [博士]（社会学）：（在ロンドン）

**Yun Hui-suk ユン ヒスク** [韓国] 女：東京大学 [博士] (材料学)：韓国機械研究院附属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

**Zang LI 臧 俐** [中国] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論))：東海大学短期大学部准教授

## [2004 年度奨学生]

**Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニャメチェ** [ガーナ] 女：東京医科大学 [博士] (薬理学)：(在ワシントン D.C.)

**Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ** [アメリカ] 女：カリフォルニア大学サンタクルーズ校／お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究)：Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

**Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ** [ウクライナ] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：ハーバード大学ウクライナ研究所フルブライト客員教授、キエフモヒリアカデミー国立大学文学部歴史学科准教授 (在ボストン)

**Lee Jea Woo 李 済宇** [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地盤地震工学)：AECOM, Associate Director (在メルボルン)

**Lee Sung Young 李 承英** [韓国] 女：筑波大学 [博士] (言語学)：光云大学日本学科 (在ソウル)

**Meng Zimin 孟 子敏** [中国] 男：筑波大学 [博士] (言語学)：松山大学人文学部教授 (在松山)

**Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット** [ロシア] 男：慶応大学 (環境デザイン)：RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

**Napoleon ナポレオン** [インドネシア] 男：東京工業大学 [博士] (機械制御システム)：パークレイズ証券

**Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ** [ドイツ] 女：東京大学 [博士] (宗教史学)：立教大学文学部キリスト教学科准教授

**Tsai Ying-hsin 蔡 英欣** [台湾] 女：東京大学 [博士] (法学)：国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

**Yang Myung Ok 梁 明玉** [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：建国大学校行政大学院社会福祉学科招聘教授 (在ソウル)

**Ye Sheng 叶 盛** [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学)：東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

## [2005 年度奨学生]

**Bao Lian Qun 包 聯群** [中国 (内モンゴル)] 女：東京大学 [博士] (言語情報科学)：大分大学経済学部教授 (在大分)

**Han Junqiao 韓 琨巧** [中国] 女：早稲田大学 [博士] (建築学)：(在パークレー)

**Han Kyoung Ja 韓 京子** [韓国] 女：東京大学 [博士] (日本文化研究)：青山学院大学文学部准教授

**Jiang Susu 江 蘇蘇** [中国] 女：横浜国立大学 [博士] (物理情報工学)：東芝インフラシステムズ株式会社鉄道システム事業部

**Kim Bumsu 金 範洙** [韓国] 男：東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史))：(社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

**Kim Yeonkyeong 金 娵鏡** [韓国] 女：東京学芸大学 [博士] (心理学)：鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

**Lan Hong Yueh 藍 弘岳** [台湾] 男：東京大学 [博士] (地域文化研究)：中央研究院の歴史言語研究所 (在台北)

**Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレシオン ティウ** [フィリピン] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：Accenture Inc. (在フィリピン・セブ島)

**Vo Chi Cong ヴォー チー コン** [ベトナム] 男：東京工業大学 (数理・計算科学)：シアトルコンサルティング株式会社

**Wang Xueping 王 雪萍／Arakawa Yuki 荒川 雪** [中国] 女：慶応義塾大学 [博士] (政策メディア)：東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

**Wong Kin Foon Kevin 王 健歡** [香港] 男：総合研究大学院 [博士] (統計科学)：Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

**Zhao Changxiang 趙 長祥** [中国] 男：一橋大学 [博士] (商学)：(在上海)

## [2006 年度奨学生]

**Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ** [ベトナム] 男：総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学)：ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

**Hu Xiuying 胡 秀英** [中国] 女：千葉大学 [博士] (看護教育学)：四川大學華西病院看護学部 (在成都)

**Hyun Seungsoo 玄 承洙** [韓国] 男：東京大学 [博士] (地域文化)：(在ソウル)

**Li Chengri 李 成日** [中国] 男：慶応義塾大学 [博士] (政治学)：中国社会科学院アジア太平洋・グローバル (全球) 研究院 (在北京)

**Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻** [台湾] 女：東京大学 [博士] (比較文化)：元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

**Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ** [スリランカ] 女：東京大学 [博士] (情報理工学)：(在スリランカ)

**Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ** [ブルガリア] 女：千葉大学 [博士] (日本研究)：(在ブルガリア)

**Seo Kyoung Sook 徐 景淑** [韓国] 女：慶応義塾大学 (美学美術史)：(在ソウル)

**Sim Choon Kiat シム チュンキヤット** [シンガポール] 男：東京大学 [博士] (教育学)：昭和女子大学人間社会学部准教授

**Sun Junyue 孫 軍悦** [中国] 女：東京大学 [博士] (言語情報科学)：立命館大学国際関係学部 (在京都)

**Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン** [スリランカ] 男：電気通信大学 [博士] (電子工学)：シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア (在ヒューストン)

**Woo Seonghoon 禹 成勲** [韓国] 男：東京大学 [博士] (建築学)：(在仁川)

## [2007 年度奨学生]

**Chan Chai-fong 詹 彩鳳** [台湾] 女：東京大学 (地域文化研究)：(在台北)

**Deng Fei 鄧 飛** [中国] 男：東京大学 [博士] (先端エネルギー学)：Super C Inc. 代表 (在深圳)

**Gangbagana ガンバガナ** [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：内モンゴル民族大学 (在フフホト)

**Kim Minsuk 金 玟淑** [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (建築学)：日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

**Lee Eungyong 李 垠庚** [韓国] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

**Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル** [中国 (ウイグル)] 男：東京医科大学 [博士] (外科学)：新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民医院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

**Park Sohyun 朴 昭炫** [韓国] 女：東京大学 [博士] (文化資源学)：韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

**Porras, Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル** [コスタリカ] 男：東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学)：コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ・プンタレナス)、東京海洋大学研究員

**Quan Mingai 権 明愛** [中国] 女：日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学)：十文字学園女子大学人間生活学部講師

**Wang Jian Hong 王 劍宏** [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：山東大学齊魯交通学院教授 (在済南)

**Yan Hainian 顔 海念／Ohinata Mine 大日向 美音** [中国] 女：東京大学 [博士] (国際保健学)：(株) 中外製薬医薬安全性本部 PV サイエンス部

**Yaroslav, Shulatov ヤロスラフ、シュラトフ** [ロシア] 男：慶応義塾大学 [博士] (政治学)：神戸大学大学院国際文化学研究科准教授 (在神戸)

## [2008 年度奨学生]

**Feng Kai 馮 凱** [中国] 男：東京大学 [博士] (機械工学)：湖南大学機械学院教授 (在長沙)

**Hong Yunshin 洪 ユンシン** [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (国際関係学)：大阪経済法科大学客員研究員



Shiohara Vroni Friederike 塩原フローニ・フリデリケ [ドイツ／スイス] 女：東京芸術大学 [博士] (文化財保存学)：BMW GROUP Japan デジタル・マーケティング・マネージャー

Liu Jian 劉 健 [中国] 女：北京大学／早稲田大学 [博士] (日本語文化)：首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男：早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男：亜細亜大学 [博士] (経済学)：内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy ブアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女：宇都宮大学 [博士] (物性工学)：(在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男：桜美林大学 [博士] (地域文化)：北京外国語大学日本語学院副教授 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女：学習院大学 (哲学)：(在ロンドン)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男：千葉大学 [博士] (人工システム)：南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (機械制御システム)：Hikvision USA, Product Manager (在カリフォルニア)

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男：武蔵野美術大学 (造形芸術)

Zhang Jian 張 建 [中国] 男：東京大学 [博士] (教育学)：東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

## [2009 年度奨学生]

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男：国民大学／東京大学 [博士] (日本史学)：駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwish, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

Kaba Melek カバ メレキ [トルコ] 女：筑波大学 [博士] (文芸・言語)：チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学教育学部日本語教育 (在トルコ・チャナッカレ)

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女：立教大学 [博士] (日本文学)：立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 榮珠 [韓国] 男：千葉大学 [博士] (地球生命圏科学)：(独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女：東京大学 (国際法)：関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Schicketanz, Erik Christopher シッケタンツ、エリック [ドイツ] 男：東京大学 [博士] (宗教学宗教史学)：國學院大学神道文化学部助教

Shermatov Ulugbek シェルマトフ、ウルグベック [ウズベキスタン] 男：明治大学 [博士] (民事法学)：ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女：東京大学 [博士] (森林科学)：国立山林科学院森林病虫害研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンブ、エルメル [オランダ] 男：東京大学 [博士] (文化人類学)：ライデン大学人文科学科 地域研究所 (LIAS) 韓国学専攻専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トゥ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア政治思想史)：東北大学大学院国際文化研究科准教授 (在仙台)

## [2010 年度奨学生]

Phramahāchatpong Katapuñño プラマハチャッポン [タイ] 男：東洋大学 [博士] (仏教学)：(在シアトル)

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女：東京藝術大学 [博士] (文化財保存学)：国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 女：学習院大学 [博士] (日本語日本文学)：(株) アートボックス (在バンコク)

Kim Kyongtae 金 キョンテ [韓国] 男：高麗大学／東京大学 [博士] (歴史学)：全南大学校歴史教育科助教授 (在韓国)

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (材料工学)：(株) POSCO 研究員 (在韓国・全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (国語教育学)：早稲田大学教育・総合科学学術院講師、慶應義塾大学非常勤講師

Lu Liang 蘆 亮 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド、イヴゲニ [イスラエル／ロシア] 男：筑波大学 [博士] (知能機能システム)：カザン連邦大学教授 (在ロシア・カザン)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドウィ・ロスティカ [インドネシア] 女：国士館大学 [博士] (政治学)：大東文化大学国際関係学部講師

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル、マティアス [フランス] 男：二松学舎大学 [博士] (中国学)：二松学舎大学文学部都市文化デザイン学科専任講師

Wang Xin 王 昕／Sakurai Shin 櫻井 慎 [中国] 男：東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学)：エア・ウォーター株式会社

Yoon Jin-Hee 尹 ジンヒ [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究)：同志社大学社会学部教育文化学科准教授 (在京都)

## [2011 年度奨学生]

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学)：高麗大学師範大学歴史教育科副教授 (在ソウル)

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男：千葉大学 [博士] (建築都市科学)：鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜 文熙 [韓国] 女：日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eunhye 金 銀恵 [韓国] 女：ソウル大学／東京大学 [博士] (都市社会学)：釜山大学社会学科助教授 (在プサン)

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男：延世大学／慶應義塾大学 [博士] (国際政治学)：忠南大学助教授 (在ソウル)

Lee Hyejeong 李 孝庭 [韓国] 女：国際基督教大学 [博士] (比較文化)：世宗大学教養学部招聘教授 (在ソウル)

Li Yanming 李 彦銘 [中国] 女：慶應義塾大学 [博士] (政治学)：東京大学教養学部国際コミュニケーションセンター特任講師、慶應義塾大学東アジア研究所訪問研究員

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女：東京大学 [博士] (地域文化)：内蒙古大学蒙古歴史学系歴史学専業主任 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女：ボストン大学／東京大学 [博士] (国際政治経済)：漢陽大学国際学部兼任教授 (在ソウル)

Peng Hao 彭 浩 [中国] 男：東京大学 [博士] (日本文化研究)：大阪市立大学社会科学系研究院経済学研究科准教授 (在大阪)

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学)：東京医科歯科大学ボスドク研究員

Xie Hui-zhen 謝 惠貞 [台湾] 女：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：文藻外語大学日本語文学系助理教授 (在高雄)

## [2012 年度奨学生]

Chen Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 男：東京大学 (文化人類学)：(在台湾)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女：東京大学 [博士] (生物科学)：国際基督教大学博士研究員

Dale, Sonja デール、ソンヤ [ノルウェー] 女：上智大学 [博士] (グローバル社会)：上智大学比較文化研究所客員研究員 (在京都)

Flick, Ulrich フリック、ウルリッヒ [ドイツ] 男：ハイデルベルグ大学／早稲田大学 [博士] (東アジア研究)：東北学院大学教養学部言語文化学科講師 (在仙台)

Han Lingji 韓 玲姬 [中国] 女：筑波大学 [博士] (情報メディア)：東京中央日本語学院養成事業部・教務部専任講師

**Li Xue 李 雪** [中国] 女：筑波大学 [博士] (文芸・言語)：寧波大学外国語学院日本語学科講師 (在寧波)

**Oh Jungkeun 呉 正根** [韓国] 男：横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント)：国立環境科学院資源循環研究課研究員 (在仁川)

**Park Hyunjung 朴 炫貞** [韓国] 女：武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術)：北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教授 (在札幌)

**Rio, Aaron リオ、アーロン** [アメリカ] 男：コロンビア大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：メトロポリタン美術館学芸員 (在ニューヨーク)

**Sung Kihyuk 成 耆赫** [韓国] 男：明治大学 (日本文学)

**Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ** [トルコ] 男：東京農工大学 [博士] (情報工学)

**Yin Feilong 尹 飛龍** [中国] 男：東京農工大学 [博士] (機械システム工学)：井関農機 (株)

**Zheng Xiu 鄭 秀** [中国] 男：東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学)

## [2013 年度奨学生]

**Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル** [スペイン] 男：東京大学 [博士] (文化・人間情報学)：上智大学外国語学部イスパニア語学科准教授

**Choi Gayoung 崔 佳英** [韓国] 女：東京大学 [博士] (社会学)

**Hao Liang 郝 亮** [中国] 男：千葉大学 [博士] (人工システム科学)：天津科学技術大学講師 (在天津)

**Hsu Han-Hsiu 許 漢修** [台湾] 男：筑波大学 [博士] (生命産業科学)：神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員 (在神戸)

**Jin Guiying 金 桂英** [中国] 女：早稲田大学 (日本語教育学)：山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任講師 (在山梨)

**Lee Saebom 李 セボン** [韓国] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：延世大学国学研究院 HK 研究教授 (在ソウル)

**Nordström, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン** [スウェーデン] 男：早稲田大学 [博士] (演劇映像学)：都留文科大学国際教育学科講師

**Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイス エフライン エドアルド** [コロンビア] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学)：(株) 日立製作所日立研究所研究員 (在ロンドン)

**Virag, Viktor ヴィラグ、ヴィクトル** [ハンガリー] 男：日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学)：長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師 (在長崎)

**Xie Pu 解 璞** [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語日本文学)：北京大学外国語学院 (在北京)

**Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ** [イタリア] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：東京工業大学物質理工学院助教

**Zhang Liang 張 亮** [中国] 男：慶應義塾大学 [博士] (医学研究) (在カナダ)

## [2014 年度奨学生]

**Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル** [スーダン] 男：東京外国語大学 [博士] (総合国際学)：学習院大学法学部政治学科特別客員教授

**Cakir, Murat チャクル、ムラット** [トルコ] 男：筑波大学 (教育基礎学)：関西外国語大学特任講師 (在大阪)

**Chae Kyeonghoon 蔡 兪勲** [韓国] 男：東京芸術大学 (映像メディア学)：韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韓国)

**Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル** [モンゴル] 女：筑波大学 [博士] (疾患制御医学)：EagleForce Associates Inc. (在バージニア)

**Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド** [グルジア] 男：慶應義塾大学 [博士] (政策メディア)：在日ジョージア大使館分析官、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

**Hu Yanhong 胡 艶紅** [中国] 女：筑波大学 [博士] (歴史・人類学)：華東師範大学馬克思主義学院 (在上海)

**Kim Taehee 金 兌希** [韓国] 女：慶應義塾大学 [博士] (政治学)：コンスタンツ大学非常勤研究員、社会科学データ分析修士課程 (在ドイツ・コンスタンツ)

**Li Hui 李 暉** [中国] 女：東京大学 [博士] (建築学)：奈良文化財研究所アソシエイトフェロー (在奈良)

**Li Ting 李 婷** [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語教育学)：日本大学文理学部助教

**Mohammad, Jakfar Idrus ムHAMMAー、ジャクファル・イドルス** [インドネシア] 男：国士舘大学 [博士] (政治学)：国士舘大学 21 世紀アジア学部専任講師

**Ryu Chunghee 柳 忠熙** [韓国] 男：東京大学 [博士] (比較文学比較文化)：福岡大学人文学部東アジア地域言語学科講師 (在福岡)

**Wang Huijun 王 慧雋** [中国] 女：早稲田大学 (日本語教育学)：一橋大学博士課程

## [2015 年度奨学生]

**Buritica Alzate, Jiliana ブリティカ アルサテ、フリアナ** [コロンビア] 女：国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス)：国際基督教大学ジェンダー研究センター特任助教

**Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス** [イギリス] 女：東京藝術大学 [博士] (美術)：東京大学先端技術研究センター特任助教

**Cho Guk 趙 国** [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)：ソウル大学日本研究所客員研究員 (在ソウル)

**Feltens, Frank フェルテンズ、フランク** [ドイツ] 男：コロンビア大学／学習院大学 [博士] (美術史考古学)：フリーア美術館学芸員 (在ワシントン DC)

**Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ** [イタリア] 男：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：身延山大学東洋文化研究所研究員

**Grib, Dina グリブ、ディーナ** [ロシア] 女：首都大学東京 [博士] (人間科学)：名古屋大学国際機構国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

**Kim Yullee 金 律里** [韓国] 女：東京大学 [博士] (基礎文化研究)：(在ソウル)

**Li He-Shu 李 飴書** [台湾] 男：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：東京大学大学院人文社会系研究科助教

**Moon Kyungnam 文 景楠** [韓国] 男：東京大学 [博士] (哲学)：東北学院大学教養学部言語文化学科准教授 (在仙台)

**Park Wonhwa 朴 源花** [韓国] 女：東京大学 (国際社会科学)

**Yan Shulan 顔 淑蘭** [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：社会科学院文学研究所 (在北京)

**Yang Yu Gloria ヤン、ユー グロリア** [中国] 女：コロンビア大学／東京大学 [博士] (美術史)：九州大学大学院人文科学研究院助教 (在福岡)

## [2016 年度奨学生]

**Chang Wei-Jung 張 瑋容** [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際)：同志社女子大学現代社会学部社会システム学科助教 (在京都)

**Cho Ahra 曹 娥羅** [韓国] 女：ソウル大学／慶應義塾大学 (国際地域学) 韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

**Choi Yurina 崔 ユリナ** [韓国] 女：武蔵野美術大学 (造形美術)

**Hong Sung-min 洪 性珉** [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)：東北亜歴史財団招聘研究委員 (北方民族史専攻) (在ソウル)

**Jeon Sangryul 全 相律** [韓国] 男：東京大学 (言語情報科学)：神戸外語大学アジア言語学科韓国語専攻語学専任講師

**Jiang Jianwei 蔣 建偉** [中国] 女：早稲田大学 [博士] (人文科学)：中山大学歴史学系ポストドク研究員 (在広州)

**Lamsal, Bikash ラムサル、ビカス** [ネパール] 男：足利工業大学 [博士] (情報・生産工学)：鹿島建設技術研究所研究員

**Lee Ji Hyeong 李 志炯** [韓国] 男：千葉大学 [博士] (デザイン科学)：第一工業大学建築デザイン学科助教 (在鹿児島)



Lin Qian Qian 林 茜茜 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：同済大学専任講師 (在上海)

Morrison, Lindsay Ray モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 女：国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス)：武蔵大学人文学部英語英米文化学科専任講師

Nam Euiyoung 南 衣映 [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)：中民社会理論研究財団 (在ソウル)

Noh Joeeun 盧 ジュウン [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)

## [2017 年度奨学生]

Akbari, Hourieh アキバリ、フーリエ [イラン] 女：千葉大学 [博士] (公共研究)：白百合女子大学非常勤講師、千葉大学人文社会科学研究所特別研究員 (在名古屋)

Bajracharya, Dinu バズラチャルヤ、ディヌ [ネパール] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：R & D Bridge Nepal (在カトマンズ)

Chen Yan 陳 隼 [中国] 女：東京大学 (超域文化科学)：京都精華大学マンガ学部専任講師、サンネクアニメーション (株) GM

Fassbender, Isabel ファスベンダー、イザベル [ドイツ] 女：東京外国語大学 [博士] (国際社会)：同志社女子大学芸学部国際教養学科助教 (在京都)

Guarini, Letizia グアリーニ、レティツィア [イタリア] 女：お茶の水女子大学 (比較社会文化学)：国際基督教大学ジェンダー研究センターリサーチアシスタント、桜美林大学非常勤講師

Kim Do-young 金 眺泳 [韓国] 男：総合研究大学院大学 [博士] (日本歴史研究)：慶北大学考古人類学部非常勤講師 (在大邱)

Kindstrand, Love シンドストラン、ロヴェ [スウェーデン] 男：シカゴ大学 / 上智大学 (比較文化研究)：上智大学国際教養学部非常勤講師、IES 全米大学連盟東京留学センター非常勤講師、シカゴ大学社会科学学科非常勤講師

Kolodziej, Magdalena コウオジェイ、マグダレナ [ドイツ・ポーランド] 女：デューク大学 / 早稲田大学 [博士] (美術史)：東洋英和女学院大学国際社会学部国際コミュニケーション学科講師

Ofosu, Joseph Ampadu オフォス、ジョセフ アンペドゥ [ガーナ] 男：東京大学 [博士] (先端エネルギー工学)：九州工業大学ポスドク研究員 (在北九州)

Park Jonghyuk 朴 鍾燮 [韓国] 男：東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検査医学)：日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

Sim Woohyang 沈 雨香 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (教育社会学)：早稲田大学教育総合研究所特別研究員

Song Han 宋 哈 [中国] 男：東京大学 [博士] (日本文化研究)：フェリス学院大学文学部日本語日本文学科准教授

Yang Guanqiong 楊 冠穹 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：関西外国語大学外国語学部助教 (在大阪)

## [2018 年度奨学生]

Chiang Yung Po 江 永博 [台湾] 男：早稲田大学 (日本史学)：(株)トラバース、早稲田大学文学研究科研究生

Cho Suil 趙 秀一 [韓国] 男：東京大学 [博士] (言語情報科学)：東国大学校文化学院日本学研究所専任研究員 (在ソウル)

Corbel, Amélie コーベル、アメリ [フランス] 女：パリ政治学院 (比較政治)：慶應義塾大学非常勤講師

Haritaipan, Lalita ハリタイパン、ラリター [タイ] 女：東京工業大学 [博士] (工学機械)：リブ・コンサルティング (在バンコク)

Kim Boram 金 ボラム [韓国] 女：東京大学 [博士] (電気系工学)：サムスン電子総合技術院 (在ソウル)

Liang Yihua 梁 奕華 [中国] 女：東京外国語大学 [博士] (言語文化)：広東外語外貿大学 (在広州)

Min Dongyup 閔 東晔 [韓国] 男：東京大学 (地域文化研究)：武蔵大学人文学部、横浜国立大学国際戦略推進機構、フェリス学院大学文学部等非常勤講師

Shorina, Dariyagul ショリナ、ダリヤグル [カザフスタン] 女：筑波大学 (国際日本研究)：明溪日本語学校開設準備室教員

Wu Xiaoxiao 武 瀟瀟 [中国] 女：フランス国立高等研究実習院 (EPHE) / 東京大学 (歴史学・文献学)：東京国立博物館国際交流室アソシエイトフェロー

Wuerrerr, Stefan ヴューラー、シュテファン・ヨアキム [オーストリア] 男：東京大学 (超域文化科学)：武蔵大学人文学部グローバル・スタディーズ学科非常勤講師

Xie, Fang 解放 [中国] 男：東京外国語大学 (言語文化)

Yang, Chun Tin 楊 淳婷 [台湾] 女：東京藝術大学 [博士] (芸術環境創造)：東京藝術大学国際芸術創造研究科特任助教

## [2019 年度奨学生]

Almerce, Nahed アルメリ、ナーヘド [シリア] 女：筑波大学 [博士] (文芸・言語)

Baraniak-Hirata, Zuzanna パラニャク平田、ズザンナ [ポーランド] 女：お茶の水女子大学 (ジェンダー学際研究)

Chen Lu 陳 璐 [中国] 女：東京外国語大学 (言語文化)

Chen Zhao 陳 昭 [中国] 女：東京大学 (文化人類学)

Ferré, Antonin フェレ、アントナン [フランス] 男：東京大学 / プリンストン大学 (日本語日本文学)：プリンストン大学博士課程 (在プリンストン)

Guo Chiyang 郭 馳洋 [中国] 男：東京大学 (地域文化研究)

Jin Hongyuan 金 弘淵 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端生命科学)：(株)リニカル (在神戸)

Kim Sinhye 金 信慧 [韓国] 女：立教大学 (コミュニティ福祉学)

Lai Sihyu 賴 思好 [台湾] 女：東京大学 (東アジア思想文化)

Lee Taekjin 李 澤珍 [韓国] 男：東京大学 (比較文学・比較文化)

Nohara, Jun ノハラ、ジュン [フランス] 男：東京大学 (国際関係論)：京都産業大学国際関係学部講師 (在京都)

Serena, Franco セレナ、フランコ [イタリア] 男：慶應義塾大学 (国際取引法・民事法学)：筑波大学社会・国際学群非常勤講師

Shin Hyewon 申 惠媛 [韓国] 女：東京大学 (国際社会・相関社会)：東京大学教養学部付属教養教育高度化機構社会連携部門特任助教

Tang Rui 唐 睿 [中国] 男：東京大学 [博士] (電気系工学)：華星光電

Wang Wenlu 王 雯璐 [中国] 女：東京大学 (中国思想文化学)：東京大学国際高等研究所・東京カレッジ特任研究員

Xie Suhang 謝 蘇杭 [中国] 男：千葉大学 (人文公共学)

## [2020 年度奨学生]

Cho Sojin 趙 沼振 [韓国] 女：東京外国語大学 (国際社会)

Koo Hyewon 具 慧原 [韓国] 女：東京大学 (美学芸術学)

Lee Sujin 李 受眞 [韓国] 女：東京学芸大学 (教育方法論講座)

Liu Yichen 劉 怡臻 [台湾] 女：明治大学 (文化領域)

Maierdanjiang, Nuermaimaiti マリダン、ヌルマイマイティ [中国] 男：順天堂大学 (医学研究科神経学)

Miao Fengke 苗 鳳科 [中国] 女：中央大学 (国文学)

Newbery Payton, Christopher Laurence ニューベリーペイトン、クリスタファー ローレンス [イギリス] 男：東京外国語大学 (言語文化)

Shishkin, Victor シーシキン、ヴィクター [ロシア] 男：東京大学 (システム創成学)

Wu Ching Wen 呉 勤文 [台湾] 女：筑波大学 (国際日本研究)

Yang Sungyun 梁 誠允 [韓国] 男：東京大学 (日本文化研究)

Yong Xu 雍 旭 [中国] 男：電気通信大学 (機械知能システム学)

Yu Ning 于 寧 [中国] 男：東京大学 (超域文化科学)

Yuan Xiao Yu 元 笑予 [中国] 女：東京学芸大学 (学校教育学)

Yun Jaeun 尹 在彦 [韓国] 男：一橋大学 (国際関係論)

# 2019年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

## 奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

### 団体

|                   |             |             |
|-------------------|-------------|-------------|
| (株) アクト・テクニカルサポート | ケミカルグラウト(株) | 中外製薬(株)     |
| イースト不動産(株)        | (株) イリア     | 鹿島建設(株)     |
| 鹿島道路(株)           | 鹿島リース(株)    | 鹿島建物総合管理(株) |
| かたばみ興業(株)         | 三井住友銀行(株)   | 大興物産(株)     |
| 東亜産業(株)           |             |             |

### 個人

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 渥美伊都子 | 藤井純一 | 井手園子 | 八城政基 |
|-------|------|------|------|

## 国際交流事業への寄附・賛助・支援

### 団体

|                              |                            |                  |
|------------------------------|----------------------------|------------------|
| 中外製薬(株)                      | 中鹿營造股份有限公司                 | イースト不動産(株)       |
| 鹿島建設(株)                      | Kajima Development Pte Ltd | 鹿島道路(株)          |
| Kajima Overseas Asia Pte Ltd | 鹿島建物総合管理(株)                | キッコーマン(株)        |
| (株) 小堀鐸二研究所                  | (株) 三菱 UFJ 銀行              | プラス(株)           |
| 大興物産(株)                      | (株) 虎 屋                    | (株) 都市環境エンジニアリング |

### 個人

|       |      |          |          |           |
|-------|------|----------|----------|-----------|
| 阿部和彦  | 足立憲彦 | 赤池 豊     | 明石 康     | 網倉和仁      |
| 麻生 泰  | 渥美恵子 | 渥美直紀・美恵子 | 包 聯群     | チャクル ムラット |
| 鄭 淳一  | 藤田隆則 | 深田 宏     | 福田孝晴     | 福島和彦      |
| 船本洋治  | 高 偉俊 | 原 嘉男     | 橋本留理子    | 畑村洋太郎     |
| 平泉登水子 | 平野 聡 | 星埜弘明     | 堀田健介     | 胡 炳群      |
| 井手園子  | 今西淳子 | 稲山孝英     | 井上博允     | 石田弘幸      |
| 岩崎統子  | 鹿島順介 | 金子 宏     | 狩野正利     | 片岡達治      |
| 鹿取克章  | 河村一雄 | 金ボラム     | 木宮正史     | 岸本啓子      |
| 小泉博義  | 幸田初枝 | 功刀欣弥     | 栗屋志伸・張桂娥 | 羅 仁淑      |
| 李 恩民  | 李 鋼哲 | 前川麻里     | マイリーサ    | 真辺文宏      |
| 皆川倫子  | 三澤正勝 | 森本洋史     | 村田雄二郎    | 永山 治      |
| 中上英俊  | 中村順次 | 中谷俊信     | 並木寿光(隆史) | 野村維男      |
| 沼田正博  | 尾島俊雄 | 岡 昌男     | 岡本 章     | 奥村裕一      |
| 大塚 寿  | 大内聖子 | 大脇正志     | 小山内優     | 佐野みどり     |
| 佐藤道信  | 佐藤直子 | 瀬谷啓二     | 施 建明     | 嶋津忠廣      |
| 塩崎恭久  | 白石勝己 | 末永 航     | 鈴木由美子    | 高橋信之      |
| 高橋 司  | 竹田 優 | 竹本 孝     | 竹内 忍     | 谷原 正      |
| 田代民治  | 戸河里敏 | 外岡 豊     | 遠山友寛     | 東城清秀      |
| 辻 悦子  | 内田 顕 | 上野 宏     | 上保紀夫     | 王 雪萍      |
| 呉 弘敏  | 武 玉萍 | 山田俊作     | 八城 政基    | 米田 稔      |
| 由田哲也  | 吉留可織 | 于 曉飛     | 朱 庭耀     |           |

(敬称略)





ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2019

2019 年度 公益財団法人 渥美国際交流財団 年報